

(16)

氏名(生年月日)	フジ 藤	オカ 岡	タツ 達	オ 雄
本 籍				
学位の種類	医学博士			
学位授与の番号	乙第768号			
学位授与の日付	昭和61年6月20日			
学位授与の要件	学位規則第5条第2項該当(博士の学位論文提出者)			
学位論文題目	若年性大動脈瘤の病因			
論文審査委員	(主査)教授 広沢弘七郎 (副査)教授 高尾 篤良, 教授 鎮目 和夫			

論 文 内 容 の 要 旨

目的

若年性大動脈瘤の病因について中高齢者のそれと比較してみると、動脈硬化、梅毒は少なくマルファン症候群が大多数であるといわれている。しかし、病因不明のものも少なくないことを私達は経験している。そこで39歳以下の若年性大動脈瘤患者114例の自験例について、70例における病理組織学的観察を含む病因検討を行なった。また大動脈弁輪拡張症(AAE)の場合にその病因としてマルファン症候群、特発性中膜壊死、高安動脈炎、非特異的炎症などさまざまなものがあり、臨床所見のみからの病因決定は困難であり、大動脈の病理組織学的検索が重要であることを認識したので、AAEの造影形態分類を試み、病理所見との関連についても検討を加えた。

対象と方法

1967年3月1日より1984年5月31日までに心研に入院し、血管造影または剖検により大動脈瘤(解離性大動脈瘤を含む)と診断した39歳以下の若年性大動脈瘤症例114例を対象とした。年齢は8歳から39歳、平均 29.5 ± 8.9 歳で、男性77例、女性37例(男女比2.1:1)であった。大動脈瘤の病因については既往歴、臨床所見、手術時切除標本の病理組織所見(57例)、剖検所見(22例)などから総合的に検討を加えた。

結果および考察

1. 若年性(39歳以下)大動脈瘤患者114例について、70例の大動脈病理組織所見を中心とした臨床、病理学的検討を行なった。

2. 病因としては、マルファン症候群によるものが

60例(52.6%)で最も多く、ついで高安動脈炎16例(14.0%)、特発性中膜壊死11例(9.7%)、非特異的炎症7例(6.2%)、外傷4例(3.5%)の順であり、不明16例(14.0%)であった。

3. 形態的にはAAE、胸部大動脈瘤が大部分(92例、80.7%)を占め、腹部大動脈瘤は3例のみであった。また解離性大動脈瘤を38例に認めた。

4. 非特異的炎症と考えられた7例中3例では、臨床的に高安動脈炎と診断できなかったが、病理組織学的には高安動脈炎様変化を認めた。

5. AAEの病因を考える場合、造影上洋梨型を呈するものは嚢胞性中膜壊死と考えられるが、びまん型や左右非対称型の中には炎症性のものや、分類不能のものが含まれており、病因によりある程度の形態的特徴をもっていると考えられた。

6. 若年性解離性大動脈瘤33例中25例(65.8%)がマルファン症候群に伴うものであった。その他の症例においては種々の要因が関与しているが、解離性以外の大動脈瘤と比較すると高血圧が重要な発症因子と考えられた。

結論

若年性大動脈瘤の病因を分析してみたところマルファン症候群、大動脈炎症候群、特発性中膜壊死が大半(87例、76.3%)を占めていた。動脈瘤の部位としてはAAEもしくは上行大動脈瘤が大部分であった(92例、80.7%)。

AAEの場合に血管造影における形態的特徴をとらえることによって病因推測が可能であると結論され

る。

論文審査の要旨

大動脈瘤の原因は時代と共に変貌した。それと共に若年者における本疾患が、日常診療の対象として増加して来た。その中には生命の危険に直結するもの、長患いの原因となり社会的生命を脅かすものが少なくない。

本論文は114例という多数の若年者大動脈瘤を臨床的に、また、血管造影の形態から、病理組織学的所見とも対比・調査したもので、臨床循環器病学に寄与するところ大である。

主論文公表誌

若年性大動脈瘤の病因

脈管学 第26巻 第3号

189～199頁（昭和61年3月25日発行）

副論文公表誌

1) 肺動脈病変を伴った大動脈炎症候群の病態と予後

呼吸と循環 32 (7) 723～728 (1984)

2) 虚血性心疾患における運動負荷心電図ならびに運動負荷心筋シンチグラムの有用性と限界

呼吸と循環 32 (12) 1293～1299 (1984)

3) 右心不全と脾機能亢進症

呼吸と循環 32 (10) 1033～1037 (1984)

4) Annulo aortic ectasia を伴うマルファン症候群の自然歴

脈管学 25 (8) 597～603 (1985)

5) 活動型大動脈炎症候群に対するステロイド療法の効果

呼吸と循環 33 (12) 1459～1464 (1985)